

テーマ：『 ホタルの舞う里南丘—ホタルのすみやすい環境を求めて— 』

北九州市立 南丘小学校

Tel. 093-581-1343 担当者： 中村 武彦



■実践内容：

南丘小学校では、平成21年度に完成したビオトープでホタルを飼育し「ホタルの舞う南丘小学校」をめざした取り組みを行いました。4年生の社会科で市立ほたる館を訪ね、館長さんからホタルの話をきいたことをきっかけに、子どもたちから「ホタルを育てたい」という声が上がりました。そこで、総合的な学習の時間に単元「ホタルを飼育しよう」を設定し、ほたる館から譲り受けた20個の卵からホタルの飼育を始めました。飼育の仕方については、地域のホタルの飼育に詳しい方の指導を受け、毎日交代で飼育を続けた結果、9月の中旬に第1号の成虫を羽化させることができました。平成22年度は、この間飼育舎で飼育を続けてきた延べ1500匹の幼虫をビオトープに放流し、自力で羽化させ、ホタルの舞うビオトープをめざしました。また、5年生は、昨年度の経験を生かして、4年生へのアドバイスをを行うとともに、ホタルが生息できる地域の川環境を維持するため、自然を大切にする呼びかけや川の見守り活動、土手や河原の清掃へと活動を広げました。6年生では、ホタルの生息できる環境づくりの大切さを市内に発信する活動に取り組みました。

■実践成果：

子どもたちは、飼育舎で育ったのでビオトープでもホタルが育つと思っていましたが、ビオトープでは羽化させることができませんでした。そこで、専門家に調べていただき、来年度に向けての課題が明らかになりました。4年生は、この課題を次の4年生にバトンタッチし、一緒に「ホタルの舞う南丘」をめざそうとはりきっています。

■実践ポイント：

常に、ビオトープとホタル、地域の自然環境とを結んで考え、ビオトープの「自然環境を守る＝地域の自然を守る」ことを意識した活動を仕組むことで、学年が上がっても活動を広げながら自然環境に働きかけを続ける子どもを育成する。

